

単元名

「人にやさしい町三原」

【単元の概要】

「須波小探偵団」として、第3学年から須波について課題発見・解決学習を行ってきた。第5学年では、地域の福祉に目を向け、健常な人でもお年寄りや障害をもった人でも全ての人々が暮らしやすい町にするためには、どのような工夫や取り組みが必要なのかを考える。体験的な活動や地域の福祉施設への訪問を通して学び、体験から気づいたことや調べたことを新聞にまとめ、発信していく活動を行う。

◆単元目標

- 自ら課題を見つけ、計画を立てて追及し、須波の福祉や環境について考えるとともに、より住みやすい町にしようとする態度を育てる。
- 調査・訪問したことや自分の考えについて、内容の中心が分かるようにまとめ、情報機器などを使って工夫して表現することができる。
- 友達と協働しながら追究・表現し、友達のよさを認め、ともによりよい考えを求めることができる。
- 自らの力でよりよい生活を創り上げることができる。

指導計画（全16時間） A：課題発見・解決能力 B：コミュニケーション能力
C：主体性 D：自己理解

探究の過程 評価	学 習 活 動	関連する 教科等
情報の収集A 課題の設定A	<ul style="list-style-type: none"> ○三原市の少子高齢化を表す人口グラフを読み取ったことを交流し合う。(1) ○学習計画を立てる。(1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 郷土「須波」を人にやさしい町にしよう ～すなみ荘での交流を通して学んだことを新聞にまとめよう～ </div>	国語 新聞を読もう 道徳 相手の立場も大切に
情報の収集B 整理・分析B まとめ・創造・表現C 実行C 振り返りD	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者疑似体験をする。(2) ○体験したことを話し合い、整理する。(2) ○体験したことや考えたことを新聞にまとめる。(3) ○すなみ荘訪問の計画を立てる。(1) ○すなみ荘を訪問し、作成した新聞をすなみ荘の方に見ていただいたり、交流したりする。(1) ○体験を通して、わかったことや自分たちにできることを考え、話し合う。(1) ○新聞・ポスター・パンフレットなどでまとめる。(3) ○作成したものを校内に掲示する。(1) ○活動を振り返る。(1) 	国語 グラフや表を引用して書こう